

東北地方 1 か月予報

(9 月 2 7 日から 1 0 月 2 6 日までの天候見通し)

平成 2 0 年 9 月 2 6 日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温の変動が大きく、1 週目は低く、2 週目は高くなる見込みです。

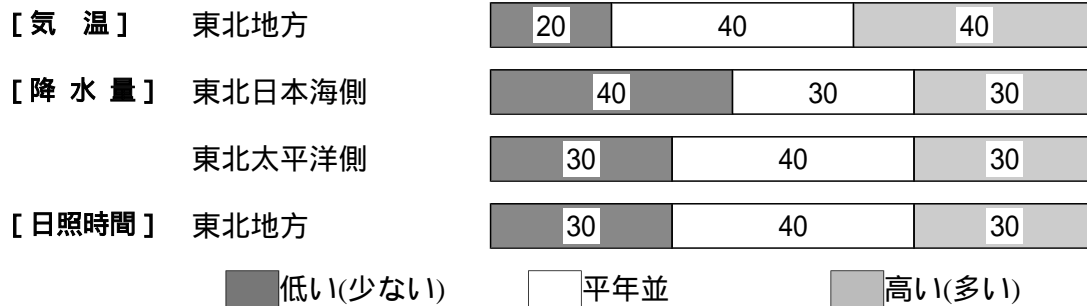
<予想される向こう 1 か月の天候>

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の前半は気温の変動が大きく、1 週目は低く、2 週目は高くなる見込みです。

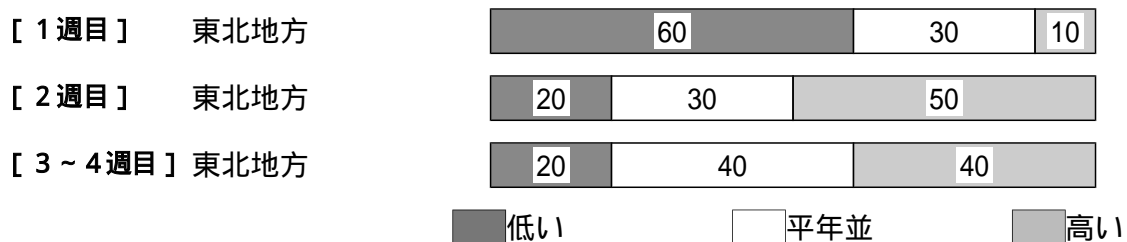
向こう 1 か月の平均気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。

週別の気温は、1 週目は低い確率が 6 0 %、2 週目は高い確率が 5 0 %、3 ~ 4 週目は平年並または高い確率がともに 4 0 % です。

<向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



<気温経過の各階級の確率 (%) >



<予報の対象期間>

1 か月 : 9 月 2 7 日 (土) ~ 1 0 月 2 6 日 (日)
1 週目 : 9 月 2 7 日 (土) ~ 1 0 月 3 日 (金)
2 週目 : 1 0 月 4 日 (土) ~ 1 0 月 1 0 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 1 0 月 1 1 日 (土) ~ 1 0 月 2 4 日 (金)

<次回発表予定等>

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 0 月 3 日
3 か月予報 : 1 0 月 2 3 日 (木) 1 4 時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	13.5	97.6	152.4	16.0	14.4	12.2
深浦	14.2	159.0	137.5	16.5	15.0	13.0
むつ	13.1	116.4	157.4	15.5	13.9	11.9
八戸	13.6	77.3	157.5	16.0	14.4	12.4
秋田	14.5	148.7	147.7	17.0	15.4	13.2
盛岡	12.7	94.7	144.5	15.3	13.6	11.4
大船渡	14.6	149.3	140.0	16.8	15.4	13.4
宮古	13.9	122.3	148.2	16.1	14.7	12.8
仙台	15.6	115.8	142.5	17.9	16.5	14.5
石巻	15.0	110.9	150.9	17.3	15.9	13.9
山形	14.1	77.6	126.6	16.7	15.0	12.8
新庄	13.3	140.3	103.9	15.9	14.3	11.9
酒田	15.5	161.7	141.8	17.8	16.3	14.4
福島	15.6	106.4	131.6	18.0	16.5	14.4
若松	14.2	79.1	116.0	16.8	15.2	12.8
白河	14.0	122.9	133.3	16.3	14.9	12.8
小名浜	16.8	165.2	144.2	18.9	17.6	15.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.2	78 ～ 108	95 ～ 104
東北日本海側	-0.5 ～ +0.2	82 ～ 112	95 ～ 104
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.2	69 ～ 112	95 ～ 106

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.5	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.4
東北日本海側	-0.6 ～ +0.5	-0.6 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.4
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.5	-0.5 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.4

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 33 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 30 %、40 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 9 月 26 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（9 月 27 日～10 月 26 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並または高い確率がともに 40%です。

なお、期間の前半は気温の変動が大きく、1 週目は低く、2 週目は高くなる見込みです。

1 週目（9 月 27 日～10 月 3 日）：

期間のはじめと中頃は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日がありますが、その他の日は高気圧におおわれておおむね晴れるでしょう。

平均気温は低い確率が 60%です。

2 週目（10 月 4 日～10 月 10 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は高い確率が 50%です。

3～4 週目（10 月 11 日～10 月 24 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

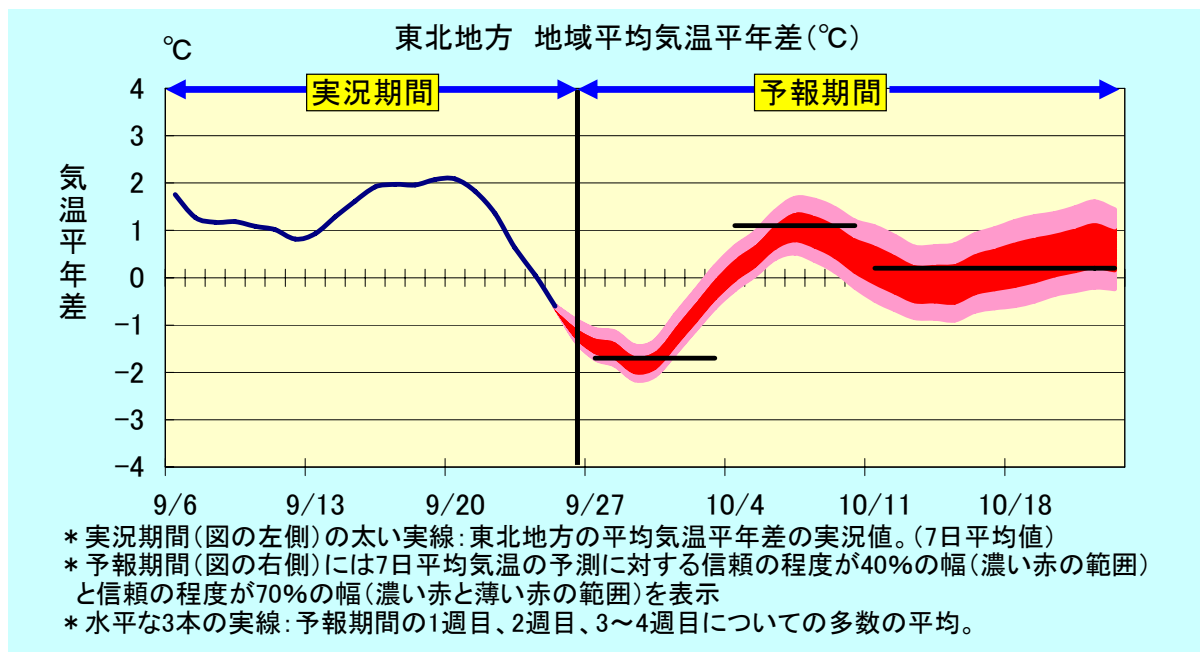
平均気温は平年並または高い確率がともに 40%です。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.8 日	3.6 日	3.4 日	6.8 日
東北太平洋側	15.5 日	3.7 日	3.7 日	8.1 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を下回り、2 週目は平年を上回り、3～4 週目は平年をやや上回る予想となっている。

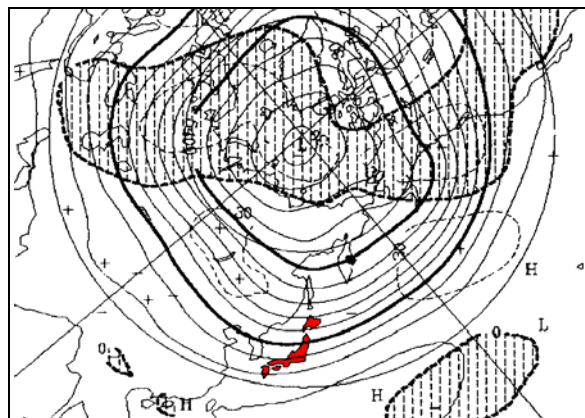


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

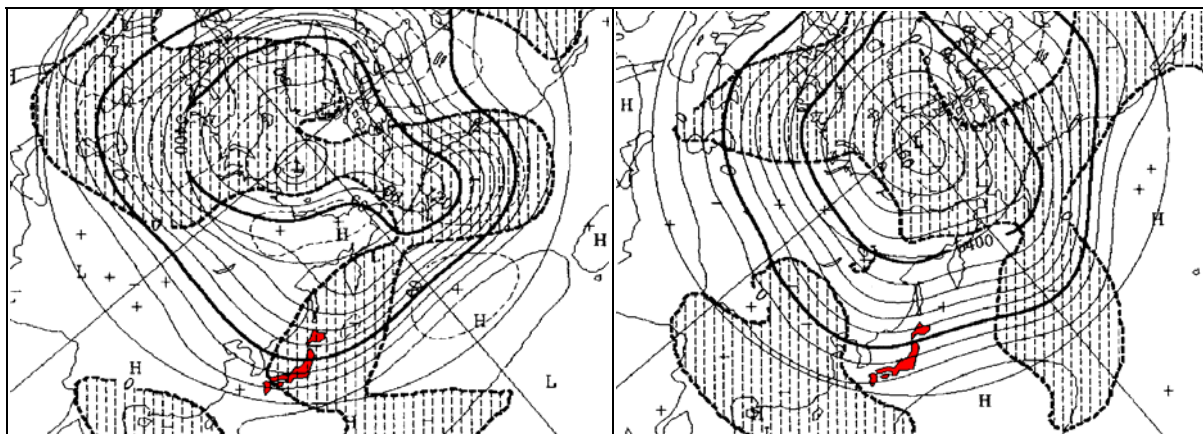
1か月平均: 日本付近を含む中緯度帯は広く正偏差で気温は高めが予想される。高緯度帯には、北欧の負偏差、バイカル湖付近の正偏差と波列が見られ、日本付近は正偏差ながらも気圧の谷となっている。このため、一時的に寒気の南下もある見込み。

1週目: 日本付近は負偏差、大陸側は正偏差で、寒気の南下しやすい大気の流れとなっている。期間の前半を中心に寒気が南下し、気温は低めが予想される。

2週目: 日本付近から東海上は正偏差、華北から華南は負偏差で、西谷傾向。暖かく湿った空気が入り込みやすく、気温は高めが予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

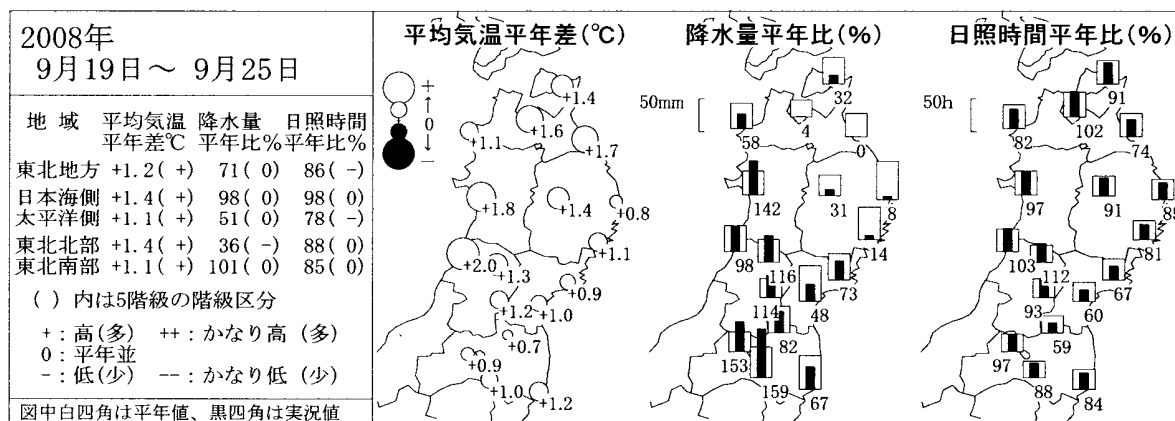
実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（9月19日～9月25日）の天候の経過

この期間、移動性高気圧におおわれて晴れの日もあったが、短い周期で気圧の谷や低気圧が通過し、東北南部を中心に曇りや雨の日が多かった。期間の中頃までは南からの暖かい空気が入りやすく気温は高めで経過していたが、期間のおわりには寒気が南下し気温は低くなった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）